

長い夏休みが終わり、前期後半が始まり、早いもので半月が経ちました。子どもたちは、学校生活のリズムを取り戻していますが、連日の暑さで熱中症指数も高く外で遊べない状態が続いています。子どもたちにとっては我慢の日が続きますが、カードゲームやおしゃべり、タイピング練習、読書と、教室や図書室で工夫して過ごしています。子どもたちがとびっきりの笑顔で外を思いっきり走り回れる日が早く来るといいです。

♡ ひまわりがっないだ、しあわせのプレゼント ♡

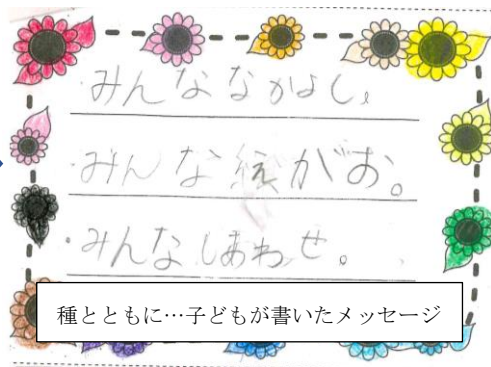
昨年度、3年生（現4年生）が1年をかけ太宰府市人権擁護委員の皆様の指導のもと、人権の花「ひまわり」を育てました。この「うめのみ」でも大輪の花を咲かせた様子を紹介しました。花を育てながら一つのことを育てることの大変さや命を大切に作る心、優しい思いやりのある心等について学んだ子ども達は、学習の最後、昨年12月に太宰府駅前、観光客の方等にメッセージとともに収穫した“しあわせの”ひまわりの種を配りました。たくさんの方が子どもたちの呼びかけに歩みを止め、もらってくださったそうです。

それから8か月、この夏、すてきなプレゼントが太宰府小学校に届きました。

一つは、新聞記事です。8月16日付西日本新聞の読者投稿欄に「幸せの種からヒマワリ開花」と題して、福岡市在住の男性の方が寄稿されていました。「太宰府小の3年生にもらったヒマワリの種。皆さんが大切に育てたヒマワリがこの夏大輪の花を咲かせました。来年は倍の数を植え、残った種を子どもや友人に配り、幸せのヒマワリの輪を広げます。」とありました。

もう一つは、静岡県の方から学校へ届いた写真と手紙です。「修学旅行で太宰府を訪れた息子がもらって来たひまわりの種を、初夏を待って家族で庭にまいて育てました。そして、この夏2輪の花を咲かせました。口数の少ない息子とひまわりを通じて朝の会話が増えました。ひまわりの種が平凡な毎日に笑顔と小さな幸せを届けてくれました。ありがとうございました。」との内容でした。

どちらも、素敵なプレゼントでした。子どもたちも私たち教職員もとても喜びました。ひまわりの種がっないでくれた「しあわせ」。人の「優しい心」をいただき、まさに生きた人権学習になったと感じています。



太宰府小創立100周年タイムカプセル展示会のご案内

8月3日に校長、創立150周年記念事業実行委員長の立ち会いのもと、50年前（昭和48年）のタイムカプセルを開封しました。その際、出てきた寄せ書き等を下記のように展示します。

記

期間 令和5年11月3日（金・祝）～11月12日（日） ※11月8日（水）は休館日
10:00～18:00

場所 太宰府館 2階ギャラリー 〒818-0117 太宰府市宰府3丁目2番3号

【問い合わせ 太宰府小学校（092-922-4069） 主幹教諭 青木美栄】